



2010/02/06

船着き場は観光船でいっぱい

「ハロン湾クルーズ」―航海といえれば外洋を大きな船で旅する感じがあるが、クルーズは比較的小さな船で鳥影を見ながらの旅を連想し、クルーズの方が好きである。今回は船内でシーフード料理を食べられるのも楽しみの一つだ。首都ハノイから車で三時間弱、夕方、ハロン湾のホテルに着く。ガイドブックのトッ

プに紹介してある高級ホテル「ハロン・ブラザ・ホテル」は大理石がふんだんに使われた吹き抜けのロビーに部屋も広々としてハロン湾が一望できる。こんな高級ホテルにツアーの旅で泊まれるのも「円の強さ」のお陰だろう。

朝食のバイキングにしても実に豪華だ。パンあり、ご飯あり、フオー（めん類）あり。それもいろいろな種類が用意されている。例えばパンにしても食パン、フランスパン、フレンチトースト、クロワッサン、菓子パンなどなど。アフリカをはじめ世界には餓死する子どもがたくさんいるというのに、もっとバランスがとれないものかと思いつつも、結局、豪華な食事を当然のことのように食べる。船着き場には千隻を超える観光船。毎日この船がいっぱいになるほどの観光客が来るの

だ。我々のツアーだけの貸し切りで海に出る。しばらくすると海面からいろんな形の岩が突き出ているのが見えはじめる。天候はあいにくどんよりしているが、快晴よりこの天気の方が山水図を見るように良い。パンフレットに「海の桂林」とあるが、この景観は心をとらえる。神秘的な奇岩、人の手ではできない自然の営みの中でこれらの小島が誕生したのだ。ガイドさんに島の数はと聞いたが「千とも、三千とも言われています」とはつきりしない。観光船が大きな島に着く。ディエンクン洞窟とよばれる鍾乳洞がある。鍾乳洞自体は秋芳洞を何度も見ているので驚くほどではないが、島の中にあり、漁民が初めてこの穴を発見した時の驚きは大変なものだっただろう。左足が不自由な妻は

観光船の中で留守番をしていたが、食事の世話をするウエイトレスが次々に土産品を持ってくるのに閉口したとニコニコ顔。閉口したとは口先だけ、十分に買い物を楽しんだようで、帰国後、カバンの中からもなんなものが出てきた。途中、生け簀（す）になってる船に横付けして簀の中を見せてもらったが、大きなカ

「ハロン湾クルーズ」―航海といえれば外洋を大きな船で旅する感じがあるが、クルーズは比較的小さな船で鳥影を見ながらの旅を連想し、クルーズの方が好きである。今回は船内でシーフード料理を食べられるのも楽しみの一つだ。首都ハノイから車で三時間弱、夕方、ハロン湾のホテルに着く。ガイドブックのトッ

プに紹介してある高級ホテル「ハロン・ブラザ・ホテル」は大理石がふんだんに使われた吹き抜けのロビーに部屋も広々としてハロン湾が一望できる。こんな高級ホテルにツアーの旅で泊まれるのも「円の強さ」のお陰だろう。

朝食のバイキングにしても実に豪華だ。パンあり、ご飯あり、フオー（めん類）あり。それもいろいろな種類が用意されている。例えばパンにしても食パン、フランスパン、フレンチトースト、クロワッサン、菓子パンなどなど。アフリカをはじめ世界には餓死する子どもがたくさんいるというのに、もっとバランスがとれないものかと思いつつも、結局、豪華な食事を当然のことのように食べる。船着き場には千隻を超える観光船。毎日この船がいっぱいになるほどの観光客が来るの

だ。我々のツアーだけの貸し切りで海に出る。しばらくすると海面からいろんな形の岩が突き出ているのが見えはじめる。天候はあいにくどんよりしているが、快晴よりこの天気の方が山水図を見るように良い。パンフレットに「海の桂林」とあるが、この景観は心をとらえる。神秘的な奇岩、人の手ではできない自然の営みの中でこれらの小島が誕生したのだ。ガイドさんに島の数はと聞いたが「千とも、三千とも言われています」とはつきりしない。観光船が大きな島に着く。ディエンクン洞窟とよばれる鍾乳洞がある。鍾乳洞自体は秋芳洞を何度も見ているので驚くほどではないが、島の中にあり、漁民が初めてこの穴を発見した時の驚きは大変なものだっただろう。左足が不自由な妻は

観光船の中で留守番をしていたが、食事の世話をするウエイトレスが次々に土産品を持ってくるのに閉口したとニコニコ顔。閉口したとは口先だけ、十分に買い物を楽しんだようで、帰国後、カバンの中からもなんなものが出てきた。途中、生け簀（す）になってる船に横付けして簀の中を見せてもらったが、大きなカ

サビエル生誕五百年

巡礼の道

200

藤屋 侃士
（下松市幸ヶ丘）



水墨画の世界のハロン湾